

2017年9月19日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会

Stanford | Shorenstein APARCThe SV Startups 100
Silicon Valley empowers Asia

米国・スタンフォード大学・Ishin Groupとの連携プロジェクト シリコンバレー-日本 協業促進事業の開始について ～オープンイノベーションによる日本のものづくり革新～

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、このたび、シリコンバレーと日本によるオープンイノベーション促進事業を開始します。本事業は、多くの日本企業が注目するシリコンバレーとの協業における様々な課題を解決し、日本製造業および関連産業のイノベーションを支援することを目的としています。

具体的な活動の第1弾として、2017年11月28日（火）・29日（水）の2日間、米国・スタンフォード大学およびIshin Groupとの連携により、スタンフォード大学 Arrillaga Alumni Center（米国・カリフォルニア州）において、「Silicon Valley - New Japan Summit 2017（シリコンバレー・ニュージャパン・サミット）」を開催します。

本サミットは、シリコンバレーで活躍するイノベーターをスピーカーとして招待し、オープンイノベーションの最新情報や日米企業の連携事例などのトークセッション、米スタートアップによるピッチを行うもので、日本の大手企業、米国のスタートアップ企業、ベンチャーキャピタルなど、500人の参加を見込んでいます。

また本サミットと並行し、事前研修会、会期中の商談サポート、企業・研究機関視察を組み合わせた公式視察団を派遣します。シリコンバレーとの連携を確実に前進させるとともに、参加者同士の相互啓発とネットワーク構築を支援します。

日本の製造業支援を通じ培ってきたJMAのノウハウや、人脈・ネットワークと、シリコンバレーと日本を結ぶネットワークの形成や産学連携支援など多方面で実績のあるスタンフォード大学アジア太平洋研究所およびIshin Groupとが協業することで、それぞれの強みを活かせるものと考えます。

今後、シリコンバレーに関する調査、情報発信、ネットワークを強化し、日本製造業および関連産業がイノベーションを起こすきっかけづくりやプラットフォームの提供を行ってまいります。

【本件に関する問い合わせ先】一般社団法人日本能率協会 経営人材センター（担当：成富）
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14階
TEL：03-3434-1410／E-mail：njs@jma.or.jp／Web サイト：http://jma-inspection.com/
※取材に関する問い合わせは広報室（斎藤：TEL:03-3434-8620）へお願いします。

Silicon Valley - New Japan Summit 2017 概要

<http://svs100.com/event2017-sv/>

日米オープンイノベーションに特化した「完全招待制」ビジネスイベント。
2回目を迎えた今年、会期を2日間に拡大。
シリコンバレーで活躍するスピーカーに加え
日本企業との協業を望む約50の現地スタートアップCEOらが参加。
単なる情報収集の場ではない、**人×技術×ビジネス**の真の交流が体感できます。

会 期 : 2017年11月28日 (火) ・29日 (水) 2日間

会 場 : スタンフォード大学 Arrillaga Alumni Center (米国・カリフォルニア州)

目 的 : シリコンバレーを拠点に活動するスタートアップとの連携促進

内 容 : シリコンバレーと日本をつなぐオープンイノベーションサミット
シリコンバレーで活躍するイノベーターをスピーカーとして招待し、
オープンイノベーションの最新情報や日米企業の連携事例などのトークセッション、
米スタートアップによるピッチを開催。

運営組織 : スタンフォード大学アジア太平洋研究所、Ishin Group (以上、主催)
一般社団法人日本能率協会 (共催)

参加者 : 500名予定

(日本の大手事業会社 4割、米国スタートアップ 4割、ベンチャーキャピタル他 2割)

(業種) IoT / ビッグデータ / フィンテック / エドテック / メディア / Eコマース /
ヘルスケア / ドローン / エンタープライズソフトウェア / 広告・マーケティング /
ロボティクス など

参加方法 : オープンイノベーションに携わる事業会社、政府系機関、ベンチャーキャピタル、メディア
を対象とした完全招待制。参加ご希望の方は、サミット公式サイト

(<http://svs100.com/event2017-sv/>) より、お申込みが必要です。

なお、ご招待が確定したうえでチケットをご購入いただきます。

チケット料金は1名あたり\$1,500 (早期割引・複数割引など各種割引あり)



登壇者（予定・敬称略）：

11月28日（火）

スタンフォード大学 アジア太平洋研究所 研究員 櫛田 健児

Yamaha Motor Ventures & Laboratory Silicon Valley Inc. CEO 西城 洋志

Draper Nexus Managing Director 前田 浩伸

東京海上ホールディングス株式会社 Head of Digital Innovation 楠谷 勝

Hitachi Solutions America Manager of Business Development and Alliance 内田 知宏

IHI Inc. Vice President 多屋 公平

11月29日（水）

Symphony CEO David Gurle

Instart Logic Vice President of Business Development Samrah Khan

Square Data Science Lead Thomson Nguyen

Inbenta CEO Jordi Torras

Branch Head of International Expansion Ramsey Pryor

Skycatch CEO Christian Sanz

Matterport The lead of Business Development Tomer Poran

Deepmap CCO & Head of Product Wei Luo

Rancher Labs CEO Sheng Liang

Curbside CEO Jaron Waldman

Narvar CEO Amit Sharma

Fyusion CEO Radu B. Rusu

Abra CEO Bill Barhydt

Hashicorp CEO David McJannet

Haven President Jeff Wehner

ADARA VP Global Marketing David Morrow

Reltio Vice President of Marketing Ajay Khanna

Rescale VP and General Manager of High Performance Computing Gabriel Broner



Silicon Valley - New Japan Summit

公式視察団 概要

<http://jma-inspection.com/>

事前研修会、会期中の商談サポート、企業・研究機関視察を
組み合わせた公式視察団。

シリコンバレーとの連携を、確実に前進させるとともに、
参加者同士の相互啓発とネットワーク構築ができます。

会 期 : 2017年11月27日 (月) ~12月3日 (日) 7日間 (5泊7日)

訪問先 : Silicon Valley - New Japan Summit 2017

および米国シリコンバレー地域の日系企業、現地企業、研究教育機関

参加対象 : ・シリコンバレー進出または現地スタートアップとの連携に関心のある

企業経営者および役員の方、オープンイノベーション、M&A戦略に携わっている方

・スタートアップとの連携について決定権を持っている方

参加料 : 日本能率協会法人会員 : 2,800,000円 上記会員外 : 3,000,000円 (1人あたり)

※9/30までに申し込みの場合、早期割引料金 (会員 : 2,400,000円、会員外 : 2,600,000円)

※航空運賃 (ビジネスクラス)、宿泊費用、通訳費用、現地交通費、教材費、Silicon Valley
- New Japan Summit 2017チケット費用などが含まれます。

主 催 : 一般社団法人日本能率協会

※ご参考 : 日本能率協会主催 シリコンバレー地域への過去視察団派遣の実績

2017年 2017ものづくり革新アメリカ視察団

会期 : 2017年7月16日 (日) ~22日 (土)

主な訪問先 : Plug & Play Tech Center、SAP、d.School、Stanford University、Wil
SRI International、Yamaha Motor Ventures And Laboratory Silicon Valley
Cisco Systems、Otherlab、OneD Material、IBM

2016年 2016生産革新アメリカ視察団

会期 : 2016年7月4日 (月) ~7月10日 (日)

主な訪問先 : SAP、d.school、SRI International、Wil、Cisco Systems、
TOYOTA RESEARCH INSTITUTE、IBM、500Startups、GE Digital

2016年 JMAマネジメント・インスティテュート 事業創造イノベーションコース

会期 : 2016年6月~2017年2月 10月の単位にて訪問

主な訪問先 : RocketSpace、SRI International、SAP、d.School
Yamaha Motor Ventures And Laboratory Silicon Valley
Institute for the Future、Google

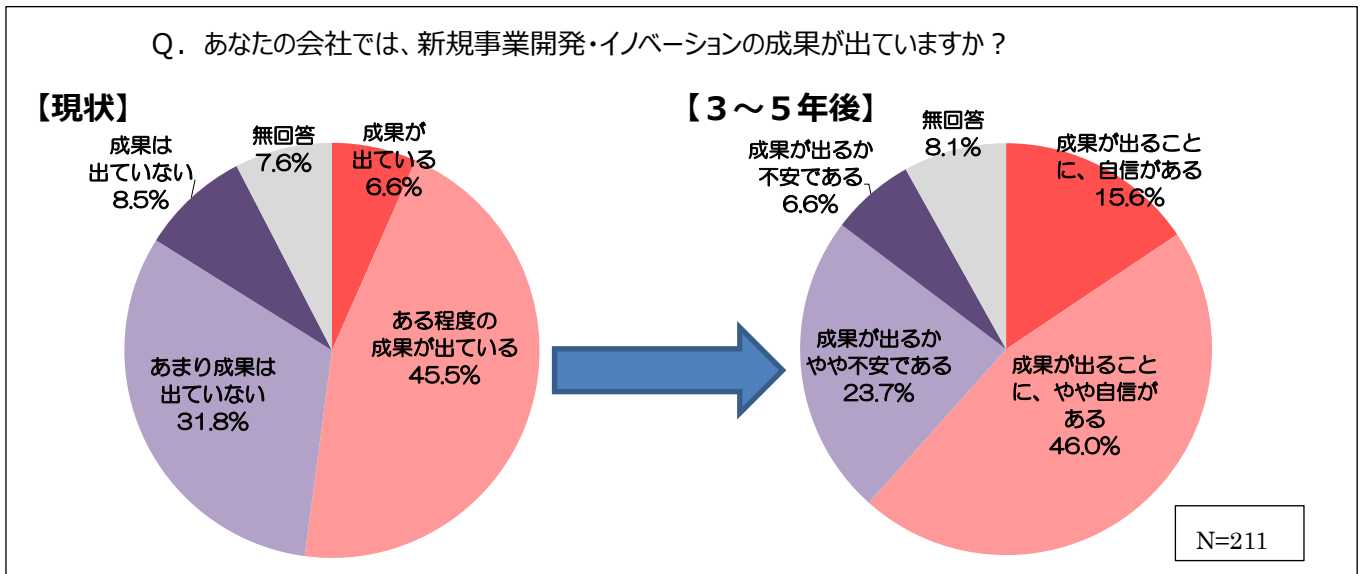
2016年 JMAマネジメント・インスティテュート 生産・開発マネジメントコース

会期 : 2016年6月~2017年2月 11月の単位にて訪問

主な訪問先 : Gilead sciences、Cisco Systems、SAP、d.School
Yamaha Motor Ventures And Laboratory Silicon Valley

参考資料 1 企画の背景

1. 日本企業、イノベーション「成果がでていない」4割（「日本企業の経営課題調査2016」日本能率協会）



JMAが2016年に行った「日本企業の経営課題調査2016」において、新事業開発・イノベーションの成果状況について尋ねたところ、現状については、約4割の企業が「成果がでていない」と回答。3～5年後に関しても、約3割が「成果がでるか不安」と回答しています。

また、オープンイノベーションの仕組みについては、約3割がすでに仕組みを持ち、約5割が仕組みを構築中・検討予定と回答。

外部との連携・協業によるイノベーションに高い関心を持っているものの、イノベーションの成果については、やや後ろ向きである状況がうかがえます。

2. シリコンバレー特有のエコシステムを活用

米国・シリコンバレーには2017年7月末時点の時価総額トップ5企業のうち4社（Apple, Alphabet, Facebook, Amazon.com）が本社を置くなど、先進企業が集結しています。シリコンバレーは世界から多くの優秀な人材や投資を集めながら、大企業・起業家・ベンチャーキャピタル・研究所・教育機関などのプレーヤーが互いに協奏するエコシステムを形成していることに大きな特徴があります。

起業における資金調達力も圧倒的です。シリコンバレーのスタートアップは、ベンチャーキャピタルから受けた投資を使い、赤字をいとわず事業モデルの確立とユーザーの囲い込みを優先します。そこには失敗を恐れない、成功には失敗がつきものであるという文化が根付いています。

シリコンバレーにおける日系企業の動向をみると、北加日本商工会議所とジェトロ・サンフランシスコによるベイエリア日系企業実態調査（2016年）では、シリコンバレーを含むベイエリアにおける日系企業数は770社で、前回（2014年）調査の719社を7.1%上回り過去最高となっています。ベイエリアの魅力として、製造業では「市場の大きさ」（59.5%）、「産業集積」（43.2%）、「大学・研究機関」（29.7%）が上位にあげられています。

こうした背景から、日本製造業にとって、イノベーション実現に向けたシリコンバレーの活用を積極的に検討すべきであると考えます。

このたび、シリコンバレーと日本を結ぶネットワークの形成や産学連携支援など多方面で実績のあるスタンフォード大学アジア太平洋研究所およびIshin Groupと協業し、日本能率協会が長年培ってきた日本製造業とのネットワークを最大限に活かしながら、シリコンバレーとのオープンイノベーション促進事業を進めていきます。

参考資料 2 運営組織について

●Ishin Group

日本発のメディアグループとしてベンチャー企業をテーマにした、雑誌「ベンチャー通信」「Tech通信」などを発行。米国ではシリコンバレーのスタートアップや日本企業のオープンイノベーション事例を取材する「The SV Startups 100」を運営。日米ベンチャー企業ネットワークを活かし、日本企業のシリコンバレーでの活動を支援。

<http://svs100.com/>

●スタンフォード大学アジア太平洋研究所

スタンフォード大学におけるアジア太平洋地域をテーマにした研究機関。技術・ビジネスモデルの創出、およびその基盤となる基礎科学の発展を担う研究機関として、スタートアップ企業の成長を支えるエコシステムの構築に貢献。シリコンバレーと日本を結ぶネットワークの形成や産学連携を支援するための研究・出版・公開フォーラムなど多方面での活動を展開。

<http://www.stanford-svnj.org/overview>

●一般社団法人日本能率協会

1942年に創立された経営・マネジメントに関する専門団体。創立以来、製造業のプロセス革新や人材育成を通じ、日本のものづくり産業の成長に貢献。日本の製造業が起こすイノベーションが世界を変えろという信念のもと、日本製造業に向けたイノベーションの仕掛けづくりを展開。

<http://www.jma.or.jp/>

協業の経緯

●2014年●

スタンフォード大学アジア太平洋研究所による「Stanford Silicon Valley New Japan Project (スタンフォード シリコンバレー ニュージャパン プロジェクト)」(以下SV-NJ) 発足、プロジェクトリーダーに榎田健児氏が就任。SV-NJの目的は、シリコンバレーと日本産業界を結びつけるプラットフォームの形成を通じて、両者の交流をさらに活発化すること。

●2015年●

ストラテジックパートナーにIshin Groupが就任。日米のベンチャー企業やベンチャーキャピタルなどの取材・情報発信で培った日米ベンチャー企業ネットワークを活かし、日本企業のシリコンバレーでの活動を支援。

●2016年●

10月4日(火)、スタンフォード大学にて「Silicon Valley - New Japan Summit」を初開催。同イベントには、日本と米国から約400人が参加。現地スタートアップ60社、日本企業60社が一堂に会し、500件以上の商談がなされた。

●2017年●

「Silicon Valley - New Japan Summit」の共催として、日本能率協会が新たに参画。日本製造業とのネットワークを活かし、シリコンバレーとの日本製造業のオープンイノベーションの重要性について普及啓発を行うとともに、研修や視察団を通じ、具体的な支援を行う。

以上